

opti 2023
ファイナルレポート
 国際メガネ・オプティクストレンド専門見本市
 2023年1月13日～15日
 メッセ・ミュンヘン

2023年1月16日

**opti 2023 — オプティクスとデザインの国際見本市として
 成功裏に完遂**

Summary

- 出展社 28カ国から 307社、
来場者 67カ国から約 15,500人
- opti BOX AWARD の受賞者は、3D
プリントフレームで注目を集めた
LARS Brillen-Swiss Made社



Facts & Data

会 期	2023年1月13日(金)～15日(日)
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	GHM - Gesellschaft für Handwerksmessen mbH(手工業見本市会社)
規 模	(2022年度: 40,000 m ²)
出 展 社 数	28カ国から 307社 (2022年度: 25カ国から 355社)
来 場 者 数	67カ国から約 15,500人(2022年度: 13,064人)
主 な 出 展 品	メガネ部品・用品(フレーム、レンズ、チェーン、ストラップ、ケース、クリーニング・ケア用品、交換部品など)、サングラス、保護メガネ・ゴーグル、子供向けメガネ、コンタクト・オプティカル・太陽光保護レンズ、レンズ溶液、レーザー視力矯正技術、検眼・視力検査・眼科機器、補聴器、医師・メガネ製造業向け機器・用品、研磨機、光沢剤、メガネ店舗設備・備品(ショーウィンドウ用品、展示ケース、在庫管理システムなど)、顕微鏡、双眼鏡、暗視機器、コンサルティング、業界団体・媒体など
併 催 プ ロ グ ラ ム	opti フォーラム など
出 展 日 本 企 業 (現法出展など含む)	(株)アサヒオプティカル、青山眼鏡(株)、(株)アトリエサンク、(株)金沢眼鏡、(株)シャルマン、(株)G.A. YELLOWS、タナカフォーサイト(株)、(株)トプコン、HOYA(株)、増永眼鏡(株)、MATSUDA ほか
専 用 U R L	www.opti.de (英語/ドイツ語)

2023年1月20日から3日間、ドイツ・ミュンヘンで開催された opti 2023 は、国際的なネットワークと活気に満ちた雰囲気の中で開催された。そして、新年最初の商談を成功に導き、最新のトレンドやデザインを提供し、光学とデザインのイノベーションの促進に結び付けた。

opti は、年始の業界のハイライトとして、2023年におけるパートナー体制の確立と受注の拡大に向けて、ビジネスの進展に拍車をかけた。今回は 67 カ国から約 15,500 人が来場した。前回に比べ 19.2%増加したことから見ても、業界の好調ぶりは明らかである。また、出展者数は 28 カ国から 307 社であった。主催者 GHM- Gesellschaft für Handwerksmessen mbH のマネージング・ダイレクターであるクラウス・プラシュカは、「本来の opti が戻ってきた。出展者と来場者が世界中から集まり、感動的な 3 日間だった。opti を信じて、今回の成功を可能してくれた関係者全員に心より感謝申しあげる」と述べた。



開催概要と来場者の傾向

会場内の新しいホール配置は、特別な雰囲気を作り出した。Central Association of Opticians and Optometrists の会長 Thmas Truckenbrod 氏は、「今回は特に活気に溢れていた。opti は光学業界にとって不可欠な見本市であり、その再出発は確かなる成功を収めたと言える。出展ブースはコンパクトにまとまり、来場者数も増えた。様々な難しい状況にもかかわらず、会場内の前向きな雰囲気は 2023 年のビジネスの成功に大きな希望を与えてくれる」と話した。

会場内は明るく活気に満ちていた。Eschenbach Optik 社の Karsten Möhrer 氏は、「opti 2023 の会期中に 1 人当たりの営業目標は達成され、その成果は非常に満足のものだ。今回、ブースのデザインコンセプトを改めたおかげで、以前より多くの人を受け入れることができた。当社の opti 2023 への出展は本当に成功であった」と語った。

革新的なプログラム

会場内の特設会場、SUSTAINABILITY HUB と MYOPIA HUB では、最新のトレンドや技術について、



講演、議論、そしてプレゼンテーションが行われ、注目を集めた。また、epitop 社が他の出展者と共同企画した出展者ツアーでは、例えば「眼科スクリーニングにおけるスマートイメージング」といった眼科光学分野における様々な重要トピックが紹介された。今年の opti は、特に市場に対して重要な推進力を発揮したと言える。

また、ソーシャルメディアのセッションでは、ドイツの眼鏡技師で 19,000 人の Instagram フォロワーを持つアイウェアブロガーの Sarah Schleiche 氏と、フランスの眼鏡店 AnSoStyle オーナーで 100,000 人の Instagram ファンを持つ Anne-Sophie Lapetite 氏が参加し、多くの参加者を集めた。

イノベーションと新しい才能の発掘

opti のハイライトの 1 つである第 2 回 opti BOX AWARD の発表も会場を盛り上げた。今回受賞したのは 3D プリントフレームで注目を集め、持続可能性に細心を払ったスタートアップ企業、LARS Brillen-Swiss Made である。opti BOX AWARD は、国際的専門家からなる審査委員会が、イノベーション、デザイン、機能性、持続可能性の観点から新し基準で評価し、ユニークな製品を生み出す新進デザイナーに賞を授与ものであり、今回で 2 回目の授与式となった。



LARS Brillen の受賞チームは、「新しいコレクションの発表と、特許を取得したヒンジや新しいモデルに対する業界関係者の評価を得る目的をもって opti に出展した。3 日間を通して、当社のコレクションには多くの素晴らしいフィードバックをもらうことができた。さらに、潜在顧客と多くの興味深い対話ができ、他ブランドのプロダクトデザイナーと技術的課題に対する議論や最新技術に関する意見交換をすることもできて、非常に有意義だった。その上、opti BOX Award も受賞することができ、期待を大きく上回る出展となった」と述べた。

opti 2024 に向けて

opti 2024 の開催に対し、今回の参加者から既に大きな期待が寄せられている。会場でのアンケートによると、来場者の 83% は次回の開催を今から待ち遠しく思っているとの回答であった。

次回 opti 2024 は、2024 年 1 月 12 日から 14 日までドイツ・ミュンヘンで開催の予定。
詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.opti.de まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)